

商業振興委員会報告書

日 時	令和6年2月20日（火） 17時30分	
場 所	ごまそば処 うさぎ家	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 副委員長・小林 義昭 委員 財前 真郷 委員・荒川 祥子 委員・水口 汪 委員(代理 水口 渉氏)
	役 員	名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 真也 指導係長・片山 輝樹 会計係
内 容	<p>1) 令和5年度の事業計画の進捗状況について はじめに令和5年度の実施項目について別紙資料を基に事務局（山本）より下記の通り報告を行った。</p> <p>（1）農商工連携による地域資源を活用した新商品開発の支援 ①酒粕パウダー「さけの粉」 ・現在さけの粉を使用している店舗が6店舗あり、年間使用料が前年度の10倍程となっている。（約10kg）</p> <p>（2）プレミアム商品券事業及び大売出し事業等への消費拡大活性化の支援 ①プレミアム商品券（当所より50万円事業支援） ・現在12月分の回収率が66.7%程となっており、前年同様、主に燃料関連、リフト券に使用されている。 →「お客様の目線に立ち、大型店舗に参加してもらおう等考慮して実施しなければ使途が偏ってしまう。」との意見があった。 ②年末大売出し事業（当初より50万円事業支援） ・参加店舗が46店舗（昨年49店舗） →参加店舗は減少しているが、抽選券の発行部数は昨年より増加している。</p> <p>（3）倶知安町特産品等の情報発信及び販路開拓支援 ①北海道まるごとフェアinサンシャインシティ ・Food Ride Hokkaido(株)、(株)Nao-buns、The Cacao Project（同）の3事業者を出店支援。売り上げ状況や商品調査結果について説明を行った。 ②北海道産品取引商談会 ・(株)デリシャスフロム北海道、(株)Nao-bunsの2事業者が出展支援。商談の様子やアンケート調査結果の説明を行った。</p> <p>以上の報告を行った後、令和6年度事業計画（案）について別紙資料を基に事務局（柳沢）より重点事項の説明を行った。</p> <p>令和6年度事業計画は協議の結果、上記の3項目を変更なく継続して行うこととした。</p> <p>2) その他 令和6年度事業計画（案）重点事項についての意見 1. 人材育成 →人手不足に関して、民間では対応しきれないため行政等も絡めて対応していただきたい。また、まちなかとヒラフエリアの時給格差の実態調査をし、今後の審議に役立てたい。</p> <p>3. 定住・定着人口増加のための住宅施策の検討 →学校の統廃合による区画整理を行い、若年者や女性単身者の住宅施策を検討していただきたい。また、本町への転入者のマナー（ゴミステーション利用・車の駐車方法・町内会への参加など）を遵守するような政策を行っていただきたい。</p>	

商業振興委員会報告書

日時	令和5年10月24日(火) 13時30分	
場所	中小企業センター 1階ホール	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・打越 雄介 委員・荒川 祥子 委員
	役員	白木 茂 会頭・小松 孝好 監事・宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 係長・片山 会計係
内容	<p>まずはじめに本間委員長より挨拶が行なわれた。</p> <p>1) 北海道まるごとフェアinサンシャインシティ(報告)について 別紙資料に基づき山本係長より説明。 昨年度のまるごとフェアとの比較やアンケート調査による結果報告などをおこなった。 その後、まるごとフェアに参加した3事業者による、各自の成果や今後の課題についての報告がおこなわれた。</p> <p>2) 北海道産品取引商談会事業者審査・選考会について 別紙資料に基づき山本係長より説明。 募集2事業者の中、応募事業者が2事業者となったため審査会をおこなうこととした。 事業者は出展計画書を基にPRを実施し、その後質疑応答を行った。 審査会終了後協議の末に下記の2事業者を出展支援することとなった。</p> <p>○(株)デリシャスフロム北海道 ○(株)Nao-buns</p> <p>3) 令和6年度倶知安町への要望について 別紙資料に基づき宮崎専務理事より説明。 令和5年度の要望についての進捗状況を説明し、11/24に倶知安町と当所役員議員との意見交換会をおこなうこととした。</p> <p>以上15:00閉会</p>	

商業振興委員会報告書

日時	令和5年9月26日(火) 10時30分	
場所	中小企業センター 研修室	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・宮武 利裕 委員
	役員	白木 茂 会頭・小松 孝好 監事
	事務局	山本 真也 係長・片山 輝樹 会計係
内容	<p>まずはじめに、本間委員長より挨拶が行なわれた。</p> <p>1) 北海道産品取引商談会について 別紙資料に基づき事務局より説明。 昨年度商談会の状況と成果報告を行った。</p> <p>①昨年度、出展事業者の参加可否について →昨年度は応募事業者が少なかったため審査会となった。今年度は昨年度の参加事業者も応募可能とし、選考会になった際も公平に審査する事となった。</p> <p>②選考会の日程について →10月24日(火) 14:00より開催する事となった。</p> <p>③チラシの内容について →異議無く承認された</p> <p>2) その他 商業振興委員会の出席率が思わしくなく、対策を練るべきとの意見があった。 後日、事務局にて委員の都合の良い日程等を調査しまとめることとした。</p> <p>以上、11:00閉会</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和5年6月28日(水) 14時00分	
場 所	経済センター 小会議室	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 副委員長・小林 義昭 委員 宮武 利裕 委員・水口 汪 委員(代理:水口 渉) 名畑 成修 委員・山田 寿 委員・荒川 祥子 委員
	役 員	白木 茂 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 真也 係長・片山 輝樹 会計係
内 容	<p>まずはじめに、本間委員長より挨拶が行なわれた。 その後、事務局より北海道まるごとフェアの趣旨、支援目的、事業者の紹介、選考会の開催方法について、説明を行なった。</p> <p>1)北海道まるごとフェア選考会 別紙「出店応募者名簿」の通り、選考会を実施した。 1事業者10分程度の自己PRを実施。商業振興委員・三役・監事・事務局の計13名の選考員が評価シートに基づき、審査を実施し、合計点数を参考に最大2事業者を事業支援者とする。</p> <p>評価シートの採点結果は下記の通りとなった。(30点/1審査員、合計390点) 1位 318点 Food Ride Hokkaido(株)(物販) 2位 296点 Nao-buns(物販) 3位 286点 The cacao Project(物販) 3位 286点 (株)ふじ井(物販) 3位 286点 つばらつばら(飲食)</p> <p>上記、点数を参考とし協議した結果上位2事業者であるFood Ride Hokkaido(株)、Nao-bunsを出店支援することとした。 また、3位のThe cacao Projectは、Nao-bunsと共同で出店するのも良いのでは。との意見があり、両者が合意した場合は共同出店とし、出店支援することとした。</p> <p>以上、16:30閉会</p>	

商業振興委員会報告書

日時	令和5年6月9日(金) 16時00分	
場所	中小企業センター ホール	
出席者	委員	本間 英夫委員長・小林 義昭委員・宮武 利裕委員 財前 真郷委員・荒川 祥子委員・水口 汪委員(代理:水口 渉氏)
	役員	白木 茂会頭・名畑 正樹副会頭・小松 孝好監事 宮崎 俊朗専務理事
	事務局	柳沢 利宏事務局長・山本 真也指導係長
内容	<p>1) 倶知安町特産品等の情報発信及び販路開拓支援について</p> <p>①本年度の販路開拓・拡大支援事業について 別紙資料に基づき、本年度、申請している伴走型小規模事業者支援推進事業の新たな需要開拓に寄与する事業「北海道まるごとフェアinサンシャインシティ2023」、「北海道産品取引商談会」について昨年の実施報告も踏まえ、事務局より説明を行った。</p> <p>②北海道まるごとフェアinサンシャインシティ2023について 別紙資料に基づき、案内チラシや選考会、選考基準について協議が行われた。 決定事項、昨年からの変更事項は下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・選考会は6月28日(水)14:00・選考会の出展計画及び評価シートの項目「会員の有無」、「昨年出店している」、「目標金額」3項目を除外・選考会の配点基準を削除(各項目0~5点で自由に採点可能)・全ての応募者採点后、点数を基に選考委員で協議の上、出店支援者を決定する。 <p>2) その他 さけの粉について、意見交換を行った。 事務局より、現在の農業高校の状況やさけの粉を使用している店舗について報告を行った。また、水口氏より、昨年設備投資したパウダーミルの生産性が想定より弱いとの報告と生産体制は、現在農業高校が主体でさけの粉を生産をしているとの報告が行われた。今後の委員会でさけの粉活用方法について、協議していくものとした。</p> <p>次回開催は、6月28日(水) 14:00~</p>	